

「応援指導班なしでは語れない私の高校生活」 高2Mさん (高校推薦入試)

私が初めて応援指導班のステージを見たのは、入学後すぐに行われた新入生歓迎会の時でした。まだ入学したばかりの頃で不安だった私は、応援指導班の明るさと元気さ、そしてそこから生み出される学生達の笑顔や一体感に引き込まれ、気づいた時には少し前までの不安な心が全て吹き飛んでいました。その瞬間、「相手の心を動かせるようなステージを作りたい!」「私もこんな風に踊ってみたい!」と思い、入班することを決めました。私は、この決断をして本当に良かったと心から思っています。

応援指導班はリーダー部にチアダンス部が加わって構成されている班で、野球応援やステージなどをメインに活動していると知りました。しかし実際に入班してみると、私の考えていた班活動とは全く異なっていました。中学生の頃の部活とは違う様々な決まりや慣れない事に直面し、毎日が大変でした。そして、大変なのは部活だけではありません。電車通学、難しい勉強、新しい環境...大変なことは数え切れないほどありました。そのため、最初は不安ばかりで悩む日もありましたが、大変な日々にも徐々に慣れていき、班活動と学校活動がどんどん楽しく充実したものになりました。

初めて立った文化祭のステージでは素敵な衣装を身に纏って照明に照らされながら、初めて人前で踊る緊張、そして喜びを心から感じていました。ステージから見える笑顔を見て歓声を聞いた時、「今まで頑張ってた良かった」「この班を選んで良かった」と強く思い、喜びで胸が満たされました。

応援指導班は楽しいだけの部活ではありません。辛い思いをする事もあるかもしれませんが、しかしその分、得るものや達成感は本当に大きいです。私の高校生活は応援指導班の思い出なしでは語れません! 心から「この部活に入って良かった」と思っています。